

教護会だより

第105号

発行日 令和5年10月11日(水)
発行者 山形県立米沢工業高等学校
全日制教護会
TEL (0238) 28-7050(代表)
URL <https://www.yonezawa-th.ed.jp>
編集 全日制教護会広報委員会
印刷 株式会社カワサキ印刷

上杉米工隊 参上!!



5月3日、恒例の上杉祭り川中島の合戦に本校生徒・職員が昨年に引き続き参加しました。
快晴のもと、多くの観客の前で堂々とした行進を行い、熱気あふれる合戦を演じて地域の活性化に貢献することができました。

山形県立米沢工業高等学校では、「PTA(保護者等と教職員の会)」のことを「教護会」と呼んでいます。
保護者と教職員の連携のもとに、本校教育の推進と生徒の健全な育成を目指して活動を行っています。



入学式



対面式



部活動紹介



応援歌練習

1学年主任&担任から



1学年主任
英語科

すずき ひろかず
鈴木 広和
先生

「飢饉やハザードマップを通して、豊かで命を守る安心な環境」「これまで自分が達成したこと、今後何を達成したいのか」を意識しましょう。



1組担任
機械生産類

さとう りょう
佐藤 凌
先生

高校生活に慣れてきたころから自分を成長させるための分岐点。米工生として色々なことに活発にチャレンジしていこう! 食欲な姿勢を!!



2組担任
英語科

あべ ともこ
安部 友子
先生

あどけない新入生だった頃に比べて、みんなぐっと高校生らしくなりました。これから社会人の卵へと育てていくのを楽しみに見守ります。



3組担任
電気情報類

おがさわら ゆうた
小笠原 優太
先生

「当たり前のことを当たり前に」そして、「当たり前に行えることに感謝」の気持ちをもって高校生活を有意義に過ごしていきましょう。



4組担任
建設環境類

さとう まさのり
佐藤 政則
先生

コース選択が決定し、未来の扉が開きました。皆さんには無限の可能性があり、自分探しを行い、進路意識を高める学期となるよう頑張ってもらいたいです。



5組担任
数学科

ささき けい
佐々木 啓
先生

入学から早半年。この半年で皆さんは何を得ましたか? 人は「立ち上がって何かをしたとき」のみ成長します。妥協せず、共に挑戦を続けましょう。

5月 May



地区総体（柔道）



地区総体（弓道）



地区総体（卓球）



地区総体（登山）



前期生徒総会



教護会合同委員会



芸術鑑賞



6月 June



ものコン測量



ものコン化学分析



ものコン電気工事



1 年合同企業説明会



インターンシップ



C 類 3 年石巻ボランティア



E 類 3 年事業所見学

7月 July



インターハイ・甲子園予選等の壮行式



救命講習会



甲子園予選 (3回戦)



薬物乱用防止講話



中学校の先生方との懇談会



ALTの先生を送る会



中学生学校見学会

8月 August



小型建設車両講習



ものコン化学分析東北大会



オープンスクール M 類



オープンスクール E 類



吹奏楽県大会



オープンスクール C 類



一斉面接指導



福島ロボットテストフィールド見学



求めたいものは「本質」か「型」か

校長
佐藤 有 二

教護会の皆様には、日頃より本校教育活動に対し特段のご理解とご支援を賜りまして心より御礼申し上げます。

さて、5月に新型コロナウイルスが5類相当に引き下げられ特別な制限が不要となったことから、学校行事や各種大会・コンクールが従前と同様に開催できました。壮行式や野球応援で全校生徒が一体となった狂瀾怒濤や体育大会で生徒が選手に送る歓声を見ると、これまでの制限が如何ばかりであったかと察するところです。一方で、今夏は酷暑に翻弄されました。教室では空調を入れつつ感染症に配慮して換気を行い、各部に急速配布した WBGT 温度計を睨みながら給水や休憩、会場変更を行う等、匙加減の難しい日々でした。逆境の中にあっても生徒達は持ち味を発揮して自己研鑽に努め輝きを放ってくれたと感じております。

ところで、昨年4月に民法が改正され成年年齢が 18歳に引き下げられて1年が経過しました。若者の社会参画が期待される中、町議会議員選挙で投票に参加した生徒もいるようです。この法改正により「2歳早く大人になります」と言う捉え方で生徒と接した時に実感が伴うところではありません。現実的な成年として成長するには保護者等と教職員の存在が欠かせません。

連合艦隊司令官として人間味と統率力に秀でたとされる山本五十六氏の名言に「やってみせ言って聞かせてさせてみて覚えてやらねば人は動かし」という名言があります。この言葉には「話し合い耳を傾け承認し任せてやらねば人は育たず」「やっている姿を感謝で見守って信頼せねば人は実らず」という続きがあります。現在の予測困難な時代に、自分で考え課題を解決できる大人に変容するには「承認して任せる」「見守って信頼する」ことが欠かせません。大人は時に、良かれと思い、失敗を恐れ、表向きを整えるため干渉が過多になります。大人は子ども達の成長の本質に目を向けることが大切です。「何がしたい?」「どうになりたい?」という問いに答えない「子ども」は大人のお膳立てに浸っている可能性があります。

本田技研工業の創設者である本田宗一郎氏は次のように述べています。「世間では、大人の言いなりになる子や、大人の考えの枠から飛躍しようとする子が『いい子』であり、自分の意思を堂々と主張したり、個性的な考え方や行動をする子を『悪い子』というレッテルをはりがちである。けれども私は逆だ。世間でいう『悪い子』に期待している。なぜならそういう子どもこそ個性にあふれ、可能性に満ちた本当の意味の『いい子』だからである。」

全ての生徒が自分らしく自ら考えを伝え行動できる大人になるために、本校と教護会の皆様がこれまで以上に強固に結束し良い関係を築くことが益々重要になります。今後、より一層のご協力とお力添えをお願い申し上げます。



ご挨拶

教護会会長
沼澤 克 幸

教護会会員の皆様におかれましては、日頃より教護会活動に対し格別なご理解とご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。本会の役割は、学校教育目標である「健康で心豊かな、想像力とたくましい実践力のある工業技術者」を育成する為に、学校と保護者の協力体制を築き、子供達が安心して楽しく学校生活をおくれる様にサポートする重要な存在です。学校環境をより良くする為に皆様方のご協力が不可欠ですので、子供達の為にも教護会活動に積極的に参加して頂けると幸いです。この3年間は、新型コロナウイルスの影響で教護会活動も制限され自粛を余儀なくされて来ましたが、今年5月から5類へ移行となり症状やリスクに応じて制限などが緩和され少しずつ本来の活動が出来る様になってまいりました。ですが未だ完全に消滅した訳ではありませんので感染拡大に注意し、互いの健康と安全を守りながら活動を続けていく事が大切です。

今年の米工文化祭では教護会による振る舞いも復活となります。3年間中止の為、経験者も少なく色々大変な事もあると思われませんが、皆で協力し合い教護会一致団結して感染防止に注意しながら安全で楽しいイベントにしたいと思います。

2年後には、米沢商業高等学校との統合により今年の1年生が最初の新しい学校の生徒となります。統合に向けた準備も着々と進んでおり、教護会も変化していく事と思われませんが、子供達には個人の自由を尊重しながら他人を気遣い、高リスクの方への配慮を考えて行動できる子供達になって欲しいと思います。

最後になりますが、教護会活動に対し、これまでと同様に皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



昨年度の米工祭準備の様子（プレゼントの袋づくり）

令和5年度 教護会役員

常 任 顧 問	佐藤 有 二	(校 長)
会 長	沼澤 克幸	(3-4 佑季)
副 会 長	大石 重雄	(2-5 ゆな)
副 会 長	齋藤 満	(1-2 龍雅)
副 会 長	竹田 晴誉	(教 頭)
監 事	本間 浩	(1-2 紳太郎)
監 事	安日 寛昭	(職 員)

[学年関係]

3 学 年	沼澤 克幸	(3-4 佑季)	学年会長・教護会会長
	角屋奈緒美	(3-5 真奈美)	学年副会長
	伊藤 博昭	(3-2 藍樹)	学年副会長
2 学 年	大石 重雄	(2-5 ゆな)	学年会長・教護会副会長
	平瀬 朗子	(2-2 冬士也)	学年副会長
	土屋 研二	(2-4 匠生)	学年副会長
1 学 年	齋藤 満	(1-2 龍雅)	学年会長・教護会副会長
	近野美保子	(1-3 玖来)	学年副会長
	石塚 誠	(1-5 空杜)	学年副会長

[専門委員長]

生活委員長	佐藤 祐人	(3-1 聖流)
広報委員長	山本 賢	(3-3 晃大)

[職 員]

岩澤 信治	(事務部長)	會田 浩昭	(総務部長)
安日 寛昭	(教務部長)	佐藤 忠博	(生徒部長)
山口 憲司	(進路部長)	鈴木 広和	(1 学年主任)
平田 努	(2 学年主任)	新田 修	(3 学年主任)

令和5年度の高等学校PTA活動について

総務部長 會 田 浩 昭

コロナに伴った規制が解除され、以前の様子を取り戻しつつある中で、4月より県、東北、全国の高等学校PTA連合会が活動を始めました。5月には山形県高P連合会も開催され、教護会会長の沼澤様、校長と3名で参加しました。

今年度は東北高P連、全国高P連共に通常開催とリモートが同時に催されます。東北大会は福島市飯坂「パルセイイざか」を会場に7月7日「届けよう、エール～未来を切り開く子供たちへ」をテーマに開催されました。私は副会長の太田様と共に参加いたしましたが、高校生による発表を皮切りに、斎藤基紀氏による講演と高校生アトラクション等、教育活動を支える保護者や社会の動きが表現され、素晴らしい大会でした。次年度は山形県で開催される予定です。

続いて、沼澤会長様・斎藤副会長様両名に全国高P連宮城大会にご参加いただきました。「豊かな杜に待つ虹の光～しなやかな強さで生き抜く力」のスローガンの下、宮城県内の高校生の活動発表がオープニングにて華々しく発表された後、第1から第6分科会までの研究部会に分かれ基調講演やパネルディスカッションが行われました。教護会会長様、副会長様が参加された第2分科会では、ICTを活用した活動や情報発信に関連した宮城教育大学教授安藤明伸氏による講演と(株)テクノマインド様によるパネルディスカッションが行われました。

20日は各種表彰が行われ、様々なPTA活動が称えられました。その後、記念講演として仙台育英高等学校野球部監督須江航氏による貴重なお話をお聞きました。夏の甲子園準優勝後ということもあり多忙な中での講演会でしたが、2年連続甲子園と昨年の全国優勝を基に、選手が持つ才覚の引き出し方についてお話いただきました。大変貴重な講演となりました。今を生きる高校生を保護者・教員として応援していくことの大切さを再確認できたと思います。

11月には、高P連山形県大会が開催されます。本校は教護会活動の報告を発表致します。これまでの活動経緯を踏まえ、今後も生徒の未来を支える教護会活動でありたいと考えております。

この度の東北、全国大会に参加できたことに感謝申し上げます、これからの糧にしたいと思います。



全国高等学校PTA宮城県大会開会行事

特集記事

令和5年度

体育祭

競技種目と結果

種目	第1位	第2位	第3位
バレーボール	3-5	2-1	3-2, 3-3
卓球	3-3	3-5	2-3, 1-4
バスケットボール	3-5	2-4	3-1, 2-1
バドミントン	3-2	1-5	3-4, 3-5
ソフトボール	1-4	3-4	3-3, 2-4
サッカー	3-3	3-5	2-1, 2-4
総合成績	3-5	3-3	1-4

3-1



3-2



3-3



3-4



3-5



競技の様子



2-1



2-2



2-3



2-4



2-5



編集後記

5月からコロナが5類引き下げとなり、3年ぶりに「声を出せる活動」が行われた事で、生徒たちの活動の枠が広がり成長できた半年だったのではないのでしょうか。今回の105号においても「生徒たちが活き活きと頑張っている姿・日々成長していく姿」を掲載できたのではないかと考えています。

この秋からも文化祭・修学旅行など様々な行事が目白押しとなり、米工のキャッチコピーである「今しか出来ない最高の挑戦」になるよう期待しております。そして「最高の挑戦・結果を皆さんに伝えられる教護会だより」を目指し、広報委員共々次号に向けて努力していきたいと考えています。

最後に、「教護会だより105号」の紙面作成に協力して頂いた方々に心からの感謝を申し上げます。

米工祭のお知らせ

テーマ
「皆輝笑祭 ～青春を謳歌しよう～」
10月20日(金)～21日(土)
※21日(土)一般公開